

大田原市高齢者福祉
計画・介護保険事業
計画(第8期)について

代表質問

大田原創生会
滝田 一郎 議員



北那須3市町の合併
及び連携強化について

質問.. 介護保険料の見直しがあるか伺います。

答弁.. 令和3年度からは、基準段階保険料を月額6000円、現在の保険料より300円低い保険料に設定します。低い設定となつた理由は、本市の介護予防事業の効果や、財政調整基金から3億8600万円を取り崩したことが寄与しています。

質問.. 介護サービス基盤の現状

と備について伺います。
答弁.. 本市では特別養護老人ホームなど26施設、873床が整備されています。第8期計画期間中には認知症グループホーム18床、ショートステイから特別養護老人ホームへ11床転床し29床分整備します。なお、整備スケジュールは、令和4年度中に整備法人を公募し、令和6年4月の開所を予定しています。

質問.. 介護施設の地震等災害対策について伺います。

答弁.. 非常用自家発電設備につきましては、地域密着型特別養護老人ホームは1施設当たり1540万円、認知症グループホーム、小規模多機能居宅型介護事業等は773万円を上限として交付されております。令和3年度についても対象事業所への情報提供を行つてまいります。

質問.. 合併の機運醸成について市長の見解を伺います。

答弁.. 合併を進めるに当たっては、そうした機運が市民の中で醸成されることが大変重要であります。

伺います。

答弁.. 廃棄物処理、夜間急患診療所の管理運営、そして、本市と那須塩原市における広域連携バスの運用を本年4月から開始します。

入れできないかお伺いします。

答弁.. 指摘のようなバスの乗り入れをすると、市民の方には本当に便利な形になるのかなというふうにも考えられます。今後やはりそういった状況を見ながら、市民の皆様からの今後よりよい在り方について、改革等を進めていきたいと考えております。

質問.. 広域行政組合運営、北那須3市町広域連携推進事業建設部会、大田原市と那須塩原市における広域連携バス等各施策における今後の連携強化について

質問.. 広域連携バス、西那須野駅で下車してゆーバスに乗り換えるのでなくそのまま国際医療福祉大病院に行けるとか、ゆーバスがこちらに来る。相互乗り